

議員各位

令和元年7月22日

議会事務局総務課

このことについては、本日、特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会が議長応接室を訪れ、議長に対して「令和2年度藤沢市予算に対する要望書」が手渡されました。議長より指示をいただきましたので、皆様にお知らせします。

令和元年7月22日

藤沢市議会議長 加藤 一殿

令和2年度 藤沢市予算に対する要望書

特定非営利活動法人
藤沢市私立幼稚園協会
会長 池田 清

令和元年 7 月 22 日 (月)

藤沢市議会 議長 加藤一殿
副議長 有賀正義殿

特定非営利活動法人 藤沢市私立幼稚園協会
会長 池田 清



令和 2 年度 藤沢市予算に対する要望書

日頃より当協会の諸活動に対し温かいご支援を頂戴しておりますことを心より感謝申し上げます。藤沢の子どもたちの健やかな成長に寄り添う公益団体として、今後とも保護者や地域のニーズに各園が建学の精神を堅持する中でなお一層の努力のもと積極的に貢献して参りたいと存じます。

引き続き変わらぬご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願いを申し上げます。

令和元年 10 月より「幼児教育・保育の無償化」が実施されます。現在、無償化施行に向けて市と施設と保護者の 3 者間での事務手続きが一気に加速化しているところです。すでに藤沢市（保育課）主催の本制度施行に向けた説明会等で多くの園から、制度変更に伴う不安や懸念が示され市より丁寧なご説明と柔軟な対応を頂いていることに感謝を申し上げます。

主な論点は保育料の支給方法（代理受領と償還払いの選択の問題）や預かり保育が就労等にともなう保育認定がなされた園児の保護者に対し一定額無償化となること、また副食費の扱い等です。不安の背景にあるのは各園がそれぞれの規模で抱える事務量の増大であることは明白です。

またこの無償化を通じて「保育料が無料で預かり保育も補助があるなら・・・」との考えのもと 2 号認定の取得対象者が増加をすることが想定されます。各園の預かり児童の増加がもたらす現場での人材確保をどうするか、という問題にも向き合う必要がでてきます。優秀な人材確保は今社会の大きなテーマです。幼児教育保育を取り巻く子ども子育ての現場でも先生の確保は喫緊の最重要課題となっております。

こうした現下の諸情勢の中から以下 2 点を令和二年度に向けた対市要望書として提出させていただきます。よろしくご検討をお願い申し上げます。

1. 無償化に伴う事務負担軽減に資する各園への補助金の創設
2. 藤沢市に優秀な幼稚園教諭の就労を促す支援の創設
 - ・ 本協会主催の就職相談会の会場として藤沢市庁舎の利用支援
 - ・ 人材確保に向けた就職相談会への補助金の創設